

かたりべ 93

豊島区立郷土資料館だより

根津山を忘れない

「根津山」は、戦中戦後を池袋で過ごした人にとって忘れることはできないところ。四歳から根津山の近くで暮らしてきた一九二四（大正一三）年生まれ崎本喜美さんに、当時のことを思い出していただきました。

遊んでいました。この根津山は、現在の東池袋一丁目から南池袋二丁目一帯で、今、その面影はありませんが、戦時中、所有者の無償開放があり、人々は、食糧調達のために耕作する畑の区画を網で張り、自由に使いました。

津山の太木にしがみつき、吹き飛ばされないようにしました。空襲で太木が燃え、その風の勢いでトラックが舞い上がるほどの竜巻がおきました。その前日、母親と神奈川県に疎開した喜美さんは、翌日、新宿駅から歩いて池袋の自宅へ戻りました。しかし、焼けて場所がわからず、通り過ぎるところを近所の人に呼び止められました。

子どもの頃、根津山は小高く、原っぱがあり、雑木林がある広い場所でした。そして、青大将を棒にひっかけた男の子たちが女の子たちを追いかけて

一九四五（昭和二〇）年四月二三日の夜中から翌日未明にかけて城北大空襲があり、多くの人が根津山に逃げました。喜美さんの父親は、片腕で病身のお兄さんを抱き、もう一方の腕で根

毎年、四月一三日には、根津山の一角だった南池袋公園で「根津山小さな追悼会」が行われています。（福岡）



女学生の頃、友人とはいつもこの場所で語らいました。また、ここは、絶好の撮影地でした。昭和15年頃。



米穀商の両親は根津山の畑でカボチャを作りました。昭和18年。
※3枚の写真は、崎本喜美氏提供。



自宅から当時の武蔵野鉄道（現西武池袋線）池袋駅まで明治通りを行進する出征したお兄さん（列中央）。昭和16年頃。

セピア色の記憶

第23回

豊島市場をめぐるふたつのおはなし

左に示した二枚の写真は、ほぼ同じ地点から撮影した昭和三〇年代と現在（二〇〇八年二月撮影）の巣鴨五丁目・二



四番街区に広がる東京都中央卸売市場豊島市場（以下、豊島市場と略す）の様子です。地図に示した*印は撮影地点を、印は撮影方向を示しています。

豊島市場の起源は、なんと二六世紀末

に遡ります。江戸の町へ収穫した作物を売りに行く駒込付近の農民が、天栄寺門前（文京区本駒込二丁目）で野菜を販売したのが始まりで、門前の辻を中心に青物問屋が建ち並び、「駒込のやつちやば」と呼ばれるようになったと言われています。江戸時代には、駒込市場は、神田・千住とともに江戸の青物を扱う三大市場

の一つとして江戸城の台所を賄う幕府御用もつとめていました。

明治三四（一九〇二）年に駒込市場は高林寺境内（文京区千駄木五丁目）に、そして、昭和一二（一九三七）年には中央卸売市場の豊島分場として現在地へ移転します。その後、昭和三七（一九六二年）、豊島分場は豊島市場へと名称を変えて現在に至っています。上写真の屋根に書かれた「豊島分」という文字から、この写真は豊島分場と呼ばれていた昭和三七年以前に撮影されたものとわかります。



さて、現在の豊島市場の所在地は、江戸時代後期に幕府に仕えた渋江長伯（一七六〇—一八三〇）が管理し、寛政一〇（一七九八）年頃にできたと言われる巣鴨菜園があった場所になります。菜園というのは、疾病治療のために薬用植物を栽培する施設のことで、日本ではすでに八世紀前半には存在していました。その後、江戸時代になると、徳川幕府主導のもと菜園制度は急速に発展し整備され、幕府が管理するものでは、他に小石川菜園・駒場菜園などが知られています。

巣鴨菜園は別名綿羊屋敷とも呼ばれましたが、これは渋江が文化一四（一八一七）年に日本で初めて綿羊を飼育し、羅紗織の試作をこの地で行なったことからきた呼称だと考えられています。なお、明治維新後、巣鴨菜園は廃止され、豊島市場として使用されるまで私有地となっていました。

もともと菜園だった場所を取り引きされる野菜は、なんとなく身体に良さそうだな…、などとつまらないことを考えてしまうのは、やはり筆者だけでしょっか？

（秋山）

*本欄は、東京都中央卸売市場のホームページの内容を参照しました。

池袋東とはどこのこと?

広がる池袋の範囲

Q 東池袋ではなく、「池袋東」という地名が豊島区にあったそうですが、いつ、なぜ、そんな地名ができたのでしょうか?

A 「池袋東」という地名は、区画整理にともなって成立した区域について、一九五六(昭和三一)年四月から(大部分は一九六〇年一月から)一九六六年一月の間に使われていたものです。

四つの村の境界

池袋東になる前の該当地域の地名をあげると次のようになります。

池袋東一丁目：池袋一・二丁目、日出町三丁目、堀之内町、西巢鴨二丁目、雑司ヶ谷町四・五丁目

池袋東二丁目：池袋一・二丁目、日出町三丁目、雑司ヶ谷町四・五丁目

池袋東三丁目：雑司ヶ谷町四・五丁目
実に多くの町からなっています。豊島区が成立する一九三二(昭和七)年以前で見ると、池袋・西巢鴨・堀之内は西巢鴨町、日出町と雑司ヶ谷町は高田町となり、さらに江戸時代の村でいうと、池袋

帯であったわけですが、

池袋駅の発展

なぜ、この地域が同一の町名、それも本来一部に過ぎない池袋を冠した町名となったのでしょうか。そこには池袋駅の設置と発展が大きな役割を果たしています。池袋駅が、山手線と赤羽線(現・埼京線)の分岐点として成立したのは一九〇三(明治三六)年、その後、東武・西武・地下鉄が開通し、

東京西北部のターミナルとなり、戦後になるとデパートも進出して副都心の一つといわれるようになりました。

元々、池袋ではなかつた池袋駅周辺の地域も、次第に池袋の名で通称されるようになっていきました。

さて、この地域の区画整理は、アジア

太平洋戦争後の戦後復興のためのものですが、戦前、一九三六(昭和一一)年四月に池袋駅付近広場街路計画として告示されたものが前史となります。この計画は戦争によって実施されなまま終わってしまっています。戦後の計画も、一九四六年には池袋駅東側・西側地区が告示されましたが(東京拘置所南側地区は一九五三年告示)、経済情勢の変動やその他の事情によって、大きく遅れました。新たに整理された地域の名が池袋東になったのは、もともと、池袋駅周辺の区画整理区域の一部であり、その東側ということですから、その限り自然なことといえ

1956年以前



1964年



現在



太線が池袋の範囲(池袋東以外は丁目を省略)。
-----は国鉄(JR)、■は池袋駅

ます。ただし、その結果、歴史的な池袋の範囲と変更後の池袋の範囲とは、かなり、異なるものとなってしまいました。

池袋の拡大

池袋東の名は、一九六四年のこの地域の住居表示の実施によって、再度変更され、現行の東池袋一〜四丁目、南池袋一・二・四丁目に変わります。この時、東池袋・南池袋の名称の範囲はさらに周囲に広がりました。池袋の範囲は一層との差が拡大したのです。

左の図で池袋の範囲の変化を示しました。(あ)

郷土資料館・春のトピックス



春の収蔵資料展のお知らせ

きんぷく&フォーフェスタ2009



- ◆学童疎開 長野県に集団疎開した池袋第二国民学校児童の日記、写真
- ◆空襲記録写真と被災品

研究紀要『生活と文化』第18号を販売しています。

郷土資料館および雑司が谷旧宣教師館の研究成果をまとめた紀要ができました。本号では研究論文一編、資料紹介一編と、郷土資料館および旧宣教師館の事業・収蔵資料に関する論考三編を掲載しています。また巻末には年報を収録しています。

◆内容

- ・青木哲夫「丸池（池袋地名由来の池）」説話成立に関する文献的考証
- ・横山恵美「資料紹介 蔬菜の採種組合・種苗生産団体について」『蔬菜及果樹ノ種苗ニ関スル調査』より
- ・秋山伸一「豊島区立郷土資料館の展示活動と来館者動向」
- ・柳河加奈子「雑司が谷旧宣教師館における教育普及事業について」
- ・福岡直子「レポート 資料の収集と収蔵庫の整備」
- ◆価格五〇〇円（郵送も可能です。ご希望の方は下記までご連絡ください。）

編集後記

かたりべ93号をお届けします。今年二月から収蔵資料の公開・活用を前提としたデータベース化事業が始まりました。現在、マイクロフィルのデジタル化と、諸家文書カードの入力作業を進めています。これと並行して、旧中学校内の収蔵施設において、来年度から始める生活資料の写真撮影とデータ入力の準備作業を、担当学芸員が調査員とともに進めています。

一方、郷土資料館では春の収蔵資料展が始まりました。気象庁から桜の開花予想が発表され、この時期はソメイヨシノの取材が多くなります。お花見がてら資料館に足を運んでみませんか。
(よここ)

かたりべ
No.93

2009年3月25日

豊島区立郷土資料館

東京都豊島区西池袋2-37-4
豊島区立勤労福祉会館7階

電話 03-3980-2351

URL: <http://www.city.toshima.lg.jp/bunka/shiryokan/>

二月一四・一五日、区立勤労福祉会館（きんぷく）にて、勤労福祉会館・区民ひろば西池袋・男女平等推進センター・郷土資料館の主催で、きんぷく&フォーフェスタ2009が開催されました。今年手塚治虫氏にちなんだ講演会や虫プロOBたちによる感謝展、アニメ上映会のほか、作品発表会、演奏会、スタンブラーなど多彩なイベントが開催され、多くの利用者で賑わいました。当館では、一階談話室で複製地図や特製ふるしきなどのPR展示をしました。

- ◆二月二五日から、二〇〇九年春の収蔵資料展を開催しています。
- 【おもな展示内容】
- ◆花見の名所 桜・ツツジ関係の浮世絵
- ◆ちよつとむかしの家電製品
- ◆あたたまる 火鉢と回転式こたつ
- ◆くみひも 土山コレクション 橋詰コレクション
- ◆種子屋のあゆみ 種苗カタログ、ヤマト種苗農具(株)関係資料